

**日本語教育学会 2018 年度第 4 回支部集会【関東支部】**  
**調査研究推進委員会コラボ企画 「第二回ワールドカフェ」開催報告**

主 催 : 公益社団法人日本語教育学会 調査研究推進委員会  
 開催日時 : 2018 年 10 月 28 日 (日) 12 : 10-14 : 10  
 会 場 : 文化外国語専門学校 D53 講義室  
 参加者 : 37 名 (参加者 28 名、委員 9 名)



カフェマスターによる開店挨拶！

◆調査研究推進委員会は、関東地区支部集会にて、日本語教育学について考えるワールドカフェを実施しました。ワールドカフェとは参加者が対話を通して気づきを得るためのワークショップ手法です。まず、参加者は興味関心に応じて幾つかの「国」に見立てたグループに分かれ、その「国」内で議論します。20 分後、各国では一部のメンバーが自「国」に残り、他のメンバーは他「国」を訪れて、その訪問先での議論に加わります。20 分後に再度自分の「国」に戻り、元のメンバーと議論を共有します。これにより多様な考えに触れ、理解や思索を深めることができますようになります。

◆今回は前回とは少しカテゴリーを変え、右の図のような 8 か国を設定しました。その結果、参加者は、①日本語教師養成に 6 名 (3 名+3 名) ②留学生教育に 8 名 (4 名+4 名)、④高度人材教育に 4 名、⑥多文化共生に 3 名、⑦海外日本語教育に 4 名、⑧日本語教育政策に 3 名となりました (計 8 テーブル)。③社会基盤人材 (介護・技能実習) と⑤子どもの日本語教育の参加希望者はいませんでした。



樹形図に付箋を貼って意見交換

◆ワールドカフェでは、和やかな雰囲気の中、さまざまな立場の参加者が、多様な意見や考え方を交換し、樹系図の中には数多くのキーワードが書き込まれました。これにより、日本語教育の輪郭の広がりや、問題意識などの共有に成功したと考えられます。また、二時間枠での実施だったことで、一人一人がじっくり意見を述べることができました。その一方、参加者数が 37 名と昨年度 (50 名) より少ない結果となりました。長時間の企画だったことで参加しにくかった可能性もありますし、会場の立地が良かったことで、外に食事に出た人が多かった可能性もあります。ワールドカフェの後の感想には「日本語教育の広がりを感じた」「1 か国だけでなく複数の国を回りたいかった」「樹系図がわかりにくかった」などの意見が聞かれました。本委員会は日本語教育の世界探訪のために今後もこの

取り組みを続けます。今回見えたことを調整しながらよりよいワールドカフェにつなげたいと思います。  
 (文責：調査研究推進委員会)